

カール大帝の帝国は、イスラムによってヨーロッパの均衡が崩壊したことの総決算だった。この帝国が実現した理由は、一方では、東方世界と西方世界の分離が教皇の権威を西ヨーロッパに限定してしまっただことであり、他方では、イスラムによるイスパニアとアフリカの征服がフランク王をキリスト教的西方世界の支配者たらしめたことである。

それ故、マホメットなくしてはカール大帝の出現は考えられない、と言って全く正しいのである。古代のローマ帝国は 7 世紀には実質上すでに東方世界の帝国となっており、カールの帝国が、西方世界の帝国になった。

問い

この文章は、ベルギーの歴史家アンリ・ピレンヌ(1862-1935 年)による『マホメットとシャルルマーニュ』（日本語訳の標題『ヨーロッパ世界の誕生』）からの一節である。ここで述べられる「カール大帝の帝国」は、どのような経緯で成立したのか。当時のイタリア、東地中海の政治情勢、またマホメット(ムハンマド)との関係に言及しながら論じなさい。(400 字以内)

2009 年 一橋大

(^ω^) 「内藤ホライゾンだおー！ ようやく完成しました中世西洋史。いかがでしたかお？」

(^ω^) 「ぶっちゃけ今回はいろいろしんどかった……

やる夫スレの体裁は最後まで悩んだし、社畜生活だと時間が捻出できないし(ry」

~~~~~

( ;ω ) 「と、とりあえず氣を取り直しまして、まずは恒例となりました設問の確認から！」

( ^ω^ ) 「ほむほむ、今回は『カール大帝の帝国がどのような経緯で成立したのか？』ですね」

( ^ω^ ) 「新作をお読みの皆様ならもうお分かりかと思いますが、こいつ、かなりの鬼畜問です。

問いの内容は、要するに『マホメットなくしてシャルルマーニュなし』について、

イタリア・東ローマ帝国・ムハンマドの 3 点に言及してまとめればよいのですが……」

( ;ω ) 「これはつまり、今日の新刊を**たったの 400 字**でまとめると言っているんです。  
一橋！ よくもこんな鬼畜問題を！ 今度という今度は許さないお！」

~~~~~

(^ω^) 「とはいえ、きちんとヒントも与えてくれます。

政治情勢という指定があるので、文化や経済の話はする必要はありません、

成立の経緯を問うているので、新刊の P95 の図表をバランスよく書けば十分です」

(;ω^) 「マホメットとの関係って言葉に引っかかるけど………

まあ、これはイスラム教徒と読み替えていいでしょう。あんま関係ないし」

(^ω^) 「また、前書きでは『マホメットなくしては～』という言葉がブッシュされてるの、
こはひとつ、**イスラム教は何をしたのか、その結果西欧世界はどうなったのか**、
と言う観点から経緯を説明するといいかもれんですね」

(^ω^) 「こういった感じに作軸を立てつつ、採点者に何を伝えるべきか検討していきますよ。
それじゃあいっこずつ確認していくお！」

~~~~~

前提：マホメット(＝イスラム教)は何をしたのか？

( ^ω^ ) 「さて、まずイスラム教は何をどうしたのが覚えてるかお？」

( ^ω^ ) 「イスラム教は 7 世紀初頭にムハンマドによって開かれたが………」

( ^ω^ ) 「この結果、アラブ人が周囲への拡大を始めることになりました。

つまりムハンマドがいなければ、**アラブ人の地中海世界への乱入**はなかったわけですよ」

( ^ω^ ) 「そして、アラブ人が地中海世界に乱入したことで何が起ったかといいますと………」

( ^ω^ ) 「ひとつは東ローマ帝国のギリシア化——すなわち『**ビザンツ化**』でしたね。

アラブ人にエジプトとシリアを奪われた東ローマ帝国は、

弱体化して色々と制度も変わり、西欧世界への影響力を失うことになりましたお」

( ^ω^ ) 「そしてもう一方は、西欧世界へ圧力をかけたことが挙げられますお。

西ゴート王国の滅亡や、『**トゥール・ポワティエ間の戦い**』がその一例でしたね」

~~~~~

①東地中海の政治情勢

(^ω^) 「こうしたアラブ人の進撃を受けて、各地域はどのように変化したんでしょうか？」

(;ω^) 「まず東地中海地域では、ビザンツ帝国が『**皇帝教皇主義**』を掲げて、

世界で唯一の皇帝として偉そうに振る舞っていましたけどが………ちよっと押しが弱いお」

(^ω^) 「そこで、ここではイスラム教徒に対抗するために、

『**聖像破壊運動**』が始まったのを忘れずに書いておきましょう。

他の地域への影響を考えれば、レオン 3 世の聖像禁止令が最も重要な変化でした」

(^ω^) 「そしてこの結果、ビザンツ帝国とローマ教皇の対立は激化することになります。

言い換えれば、**ローマ教皇はビザンツ帝国を失い、さらに孤立した**とも書けますお」

②西地中海(＝イタリア)の政治情勢

- (^ω^) 「一方の西地中海世界でも、いくつか重要な変化が起こっていますね」
- (^ω^) 「まず、異教徒の圧力が増したことで、西欧世界では『**カロリング朝**』が成立します」
- (^ω^) 「しかし、初代国王のピピン 3 世は王位簒奪の汚名を被ることを恐れていたため、ローマの教皇にお墨付きをもらえよう画策をしていましたが……………」
- (^ω^) 「この動きに、孤立しかかっていたローマ教皇は飛びつきます。
イタリアではゲルマン系の『**ランゴバルド王国**』が居座っており、キリスト教会の保護者を見つけたことは喫緊の課題となっていたからですお」
- (^ω^) 「こうして**ローマ教皇とカロリング朝との結びつき**は強まっていますね。是非とも書いておきたい点です」
『**ピピンの奇進**』なんかはその好例と言えますね。是非とも書いておきたい点です」
- ~~~~~
- (^ω^) 「イスラム教徒の土台の上で、孤立した教皇とフランク王国が結びつく……………」
これらの一連の流れの延長線上に『**カールの戴冠**』はあった訳ですね」
- (^ω^) 「そもそもカール大帝は何をやっていたかと言いますと、ランゴバルド王国を滅ぼしたり、スペインのイスラム教徒やその他の異民族を蹴散らしています」
- (^ω^) 「つまり彼は、まさに名実ともに唯一ぬきの西欧の盾。
西欧世界の保護者としての一面が強い。ここは指摘しておきたいところですよ」
- ~~~~~
- (^ω^) 「さて、今回は友人にも解答を作ってもらいました。
まずはとりあえず読んでみて下さいおー」

Gu の解答

7 世紀、イタリアはアリウス派キリスト教を信仰するランゴバルド王国に支配されており、ローマ教会は自らの庇護者を求めて、アタナシウス派であったフランク王国との関係を強めていた。イスパニア、アフリカではイスラム教勢力の侵攻が進み、フランク王国へと侵入が進むと、カール・マルデルがトウル・ポワテイエ間の戦いでイスラム教徒を破り、ローマ教会の支持を得たピピン 3 世によってカロリング朝が成立した。ピピンはランゴバルド王国の討伐を行い、ラヴェンナを寄進するなど、ローマ教会の結びつきはさらに強まっていった。東地中海では、東ローマ帝国とイスラム教徒との戦いが激化していた。東ローマ帝国では皇帝教皇主義によって皇帝の権力が高まっていたが、これがローマ教会との対立を招き、レオン 3 世の聖像禁止令によって対立は決定的なものとなった。このような背景から、ローマ教皇レオ 3 世はカール戴冠を行い、カール大帝の帝国が誕生した。(399 字)



- 「おっとフランク王国内の出来事ばかりが重要すぎて気がひひひひひ行くが
出題内容のイスラム教徒との関係を忘れちゃいけない事もつけくわえないとダメだな」
- (^ω^) 「彼の解答は、ローマ教皇とカロリング朝との関係、
およびローマ教皇と東ローマ皇帝との関係は良く書けているようです」
- (^ω^) 「しかし、マホメットがそれらに対して与えた影響が読み取りづらいものとなっていますね」
- (^ω^) 「くどいようですが、この設問者が聞きたいのは
イスラム教がカール戴冠にどんな影響を与えたのか？であって、
決してフランク王国内の王朝交代や、教皇と蛮族の対立に関してはではないのです」
- (^ω^) 「みなさんも解答を作る際には気を付けて下さいおー」
- ~~~~~
- (^ω^) 「さて、一方の>>1 の解答はというと……………」

>>1 の解答

7 世紀にマホメットが開いたイスラム教は、アラブ人が地中海世界に侵入する原動力となった。それまでの覇権国家であった東ローマ帝国は、エジプトとシリアを奪われギリシア化が進んだ結果、東地中海の地域大国へと転落した。また偶像崇拜を禁ずるイスラム教への対抗上、聖像破壊運動が起こりローマの教皇との断絶が深まった。他方北アフリカとイベリアを制したアラブ人は、フランク王国に圧力を加えカロリング朝の成立を促した。だがこの王朝は正統性に欠け、故にピピン 3 世はキリスト教の庇護者としての立場に権力基盤を見出した。彼はイタリアを支配するランゴバルド王国を排し、征服地の寄進を行って孤立を深める教皇との協力を強め、西欧の大国としての地歩を固めた。その後カールがイスラムを含む異教徒への攻勢を強めると、教皇はこれに皇帝位を与えて西ローマ帝国の復活を宣言。カールの帝国は西欧世界から名実ともにイスラムと東ローマの影響を排した。(400 字)



- 「さすがに固有名詞が少ないのが目につくこれは解答としてどうなんだ？」
- (; ^ω^) 「流れを重視したら字数が足りなくなっちゃ死んだwwwwww ずまんこwwwwwwwwww
みんなはこんな極端な解答を真似しちゃだめだおwwwwwwwwww」
- ~~~~~
- (^ω^) 「さて、今作の中世西洋史 I では、カール戴冠までの流れを概観しました」
- (^ω^) 「今回はカール戴冠以降について語るべきなのか、
それともイスラム教について語った方がいいのか……………」ぶっちゃけ悩み中だったります」
- (^ω^) シ 「ともあれおあとがよろしいようwでwwwwww それじゃまたねー！」